

第70期 事業の中間ご報告

2011年4月1日 ▶▶ 2011年9月30日

ごあいさつ

「お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける」ために

皆様には、日頃一方ならぬご支援、ご愛顧を頂き誠にありがとうございます。

当中間期は東日本大震災の影響、ギリシャ問題に端を発した欧州のソブリン・金融問題がグローバルに与えた影響などにより大変難しい経営環境が続きました。

その中で、当社は、「お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける」という経営理念の実現にむけ「金融・証券界のブランド・ブティックハウス」構築の土台作りを目指し、株主の皆様、お客様をはじめとした各ステークホルダーの皆様と「Long Term Good Relation」を図るべく、一人一人の役職員が「感謝・誠実・勇気・迅速・継続」を日々の行動指針として努力をしております。

商品戦略においては、長年継続しているいちよし基準をもとに「売れる商品でも売らない信念」を貫いてきました。

今後とも、「今までの日本にない証券会社を作ろう」を合言葉に私はじめ役職員一同、尽力していく所存です。

皆様におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2011年11月



取締役(兼)執行役社長

武極政司

いちよしの credo

経営理念

お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける

経営目標

金融・証券界のブランド・ブティックハウス

行動指針

感謝 誠実 勇気 迅速 継続

Long Term Good Relation

〈社員のために〉

社員の個性を尊重し
人材の育成に努める

- ・いちよし精神
- ・働きがい

〈お客様のために〉

一人、一人の
『いちばん』でありたい

- ・お客様第一
- ・良質なサービス

〈株主のために〉

持続的な業績向上を図り
企業価値の増大に努める

- ・株主還元
- ・情報の開示

〈社会のために〉

金融・証券市場の
担い手として
社会の発展に貢献する

- ・社会的責任
- ・社会貢献

「いちよしのアドバンテージ・強み」

「ブランド・ブティックハウス」型
ビジネスモデル

- 「個人富裕層の金融資産運用サービス特化」
- 「中小型株と中堅企業ニーズ対応サービス特化」

8つの基本戦略

1 フレド(企業理念)の徹底

- ▶ 永続的な成長のベースになる経営理念

2 営業基盤の拡大

- ▶ 預り資産の増大

3 収支構造の改善の継続

- ▶ 株式市場の変動に影響されない収支構造の促進

4 既存ビジネスの収益力の厚み増加

- ▶ 中小型株特化の収益力アップ

5 いちよしグループの総合力

- ▶ 『トライアングル・ピラミッド経営』の強化

6 コンプライアンスの実践

- ▶ コンプライアンスは競争力の源泉

7 チャンネルの多様化

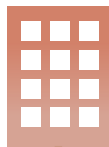
- ▶ 成長戦略の一環

8 人材の育成

- ▶ 人材こそが成長の源泉

店舗戦略

地方証券とのネットワーク



いちよし証券

環証券(和歌山県)
(1948年12月創立)
社員13名/預り資産100億円

2010年4月12日 環証券と合併



大北証券(岩手県)
(1948年5月創立)
社員22名/預り資産160億円

2010年10月28日 大北証券へ資本参加



飯田証券(長野県)
(1948年5月創立)
社員30名/預り資産300億円

2011年1月4日 飯田証券と合併



佐世保証証券(長崎県)
(1948年9月創立)
社員22名/預り資産170億円

2011年1月4日 佐世保証証券と合併



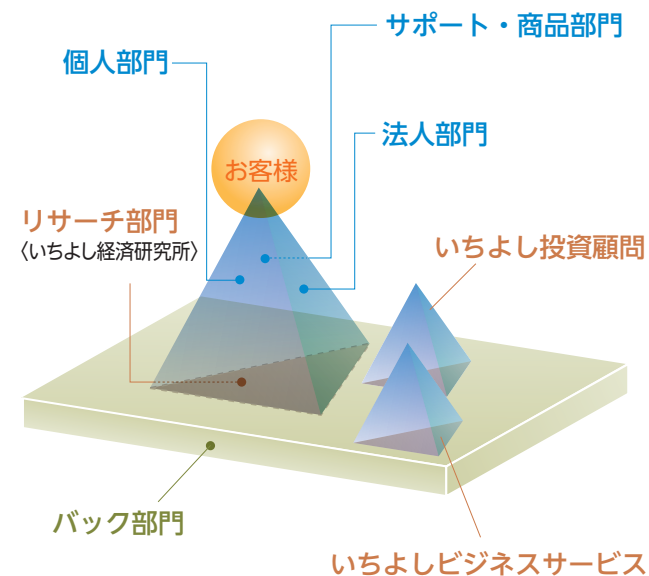
伊勢証券(三重県)
(1951年1月創立)
社員22名/預り資産186億円

2011年9月1日 伊勢証券へ資本参加
2012年2月6日 同社と合併予定



トライアングル・ピラミッド経営とは

いちよし証券は「トライアングル・ピラミッド経営」を推進しております。リサーチをベースにした、個人部門、法人部門、サポート・商品部門の正三角形4面体をバック部門という土台が支えることにより、各部門および関係会社の機能をいちよしの総合力として最大限に発揮させることを目的とした経営スタイルです。さらに各部門のコ・ワーク（共同業務推進）によるシナジー効果により、お客様により良いサービス、より良い情報、より良い商品を提供してまいります。



第9回コーポレート・ガバナンス調査
「企業統治インデックス(JCG Index)」上位20社(2010年)

前回順位	順位	JCGIndex	企 業 名
2	1	80	ソニー株式会社
2	2	78	スミダコーポレーション株式会社
6	3	77	株式会社ニッセンホールディングス
2	3	77	株式会社大和証券グループ本社
9	5	75	オムロン株式会社
1	6	74	株式会社東芝
8	7	72	株式会社パルコ
18	8	71	いちよし証券株式会社
7	8	71	帝人株式会社
11	8	71	エーザイ株式会社
20	8	71	株式会社リコー
—	8	71	オリックス株式会社
13	8	71	野村ホールディングス株式会社
—	14	69	(*)
13	15	68	コニカミノルタホールディングス株式会社
38	15	68	日本電産株式会社
38	15	68	三井物産株式会社
—	15	68	株式会社オートバックスセブン
23	19	67	コスモ石油株式会社
56	19	67	TDK株式会社
2	19	67	イオン株式会社

出所：日本コーポレート・ガバナンス研究所（JCGR）
(*)は、公表を希望しない企業

当社は、日本コーポレート・ガバナンス研究所（JCGR）による東京証券取引所市場第一部上場企業を対象とした第9回コーポレート・ガバナンス調査において、アンケート回答127社中第8位に選定されました。

■ 第2四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	前連結会計年度 (2011年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2011年 9月30日)
●資産の部		
流動資産	27,541	27,574
現金・預金	13,199	10,097
預託金	2,845	3,275
トレーディング商品	373	339
約定見返勘定	8	23
信用取引資産	8,254	7,404
募集等払込金	2,051	5,605
固定資産	8,066	7,929
有形固定資産	4,401	4,377
無形固定資産	580	490
投資その他の資産	3,084	3,061
投資有価証券	1,733	1,719
資産合計	35,607	35,504
●負債の部		
流動負債	10,031	10,371
トレーディング商品	2	—
信用取引負債	3,992	3,815
預り金	3,955	4,284
固定負債	799	898
長期借入金	498	548
特別法上の準備金	102	112
負債合計	10,934	11,383
●純資産の部		
株主資本	26,467	25,916
資本金	14,577	14,577
資本剰余金	8,322	8,319
利益剰余金	3,822	3,299
自己株式	△256	△280
その他の包括利益累計額	△1,859	△1,872
新株予約権	33	44
少数株主持分	31	32
純資産合計	24,672	24,121
負債・純資産合計	35,607	35,504

（注）主な科目を掲載しております。

■ 第2四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期連結累計期間 自 2010年 4月1日 至 2010年 9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2011年 4月1日 至 2011年 9月30日
営業収益	6,101	7,256
受入手数料	5,323	6,607
トレーディング損益	297	144
金融収益	109	78
その他の営業収益	370	425
金融費用	31	33
純営業収益	6,069	7,223
販売費・一般管理費	7,248	7,204
取引関係費	710	662
人件費	3,935	3,903
不動産関係費	857	840
事務費	1,072	1,108
営業利益又は営業損失（△）	△1,178	18
経常利益又は経常損失（△）	△1,211	13
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,199	4

（注）主な科目を掲載しております。

トピックス

当社は、配当性向(40％程度)と純資産配当率(DOE4％程度)を配当基準とし、算出された金額のいずれか高いものを採用し配当額を決定しております。当第2四半期の中間配当は、純資産配当率(DOE4％程度)を採用し、10円といたしました。

会社概要

会社名	いちよし証券株式会社 (証券コード：8624)
創立	1950年8月18日
本社所在地	東京都中央区八丁堀二丁目14番1号
代表者	執行役社長 武樋 政司
電話	03-3555-6210（代表）
資本金	145億77百万円（2011年9月30日現在）
従業員数 (連結)	989名（2011年9月30日現在）
店舗数 (本店含む)	43店舗（2011年9月30日現在）
上場金融商品 取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
ホームページ アドレス	http://www.ichiyoshi.co.jp/

商号等／いちよし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第24号
加入協会／日本証券業協会、(社)日本証券投資顧問業協会

株式等の状況

(2011年9月30日現在)

株式数および株主数

発行可能株式総数	168,159,000株
発行済株式総数	44,431,386株
株主数	13,837名

大株主

株 主 名	持株数	持株比率
	千株	%
野 村 土 地 建 物 株 式 会 社	5,298	12.07
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 常任代理人 香港上海銀行東京支店	2,235	5.09
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー 505223	2,060	4.69
ジェイピーモルガン クリアリングコープセク	1,464	3.33
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,106	2.52

(注) 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711（通話料無料）
上場金融商品 取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.ichiyoshi.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本 経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(配当金計算書について)

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券口座でお受取り（株式数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

いちよし証券には、10年来ずっと守り続けている「個人のお客様向け商品についての原理原則」があります。それがお客様との信頼関係構築につながると考えています。

“売れる商品でも、売らない信念。”
－「いちよし基準」(10年来実施)－

- 公募仕組み債は取り扱いません。
- 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いません。
- 私募ファンドを取り扱いません。
- 個別外国株は、勧誘しません。外国株は投信での保有をお勧めします。
- 投信運用会社は、信頼性と継続性で選びます。
- 先物・オプションは勧誘しません。
- FX（外為証拠金取引）は取り扱いません。

売れる商品でも、
売らない信念。

私たちは、お断りする事があります。

【いちよし基準】＝「個人のお客様向け商品についての原理原則」

- 公募仕組み債は取り扱いません。
- 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いません。
- 私募ファンドを取り扱いません。
- 個別外国株は、勧誘しません。

外国株は投信での保有をお勧めします。

- 投信運用会社は、信頼性と継続性で選びます。
- 先物・オプションは勧誘しません。
- FX（外為証拠金取引）は勧誘しません。

私たちは、この「いちよし基準」を10年来守り続けています。

お客様の資産を安全・安定に運用していくための、お役に
立たないということが当社の役職目のひとつです。単に商品の品揃え
を重視して、売れ残りが発生する商品や、一時的な高値で
お客様の大切な資産を安んじて中長期的に保有して頂くため、
あえてお断りする事があります。私たちは、お客様に信頼して頂き、
より良い関わり合いを通して頂くことを目指します。

選ばれ続ける証券会社へ。

■■■ いちよし証券